

タネピリカはここ建部に新しく苗を育てに来た人と、この里を守りたいと願う地元の人との交流新聞です。

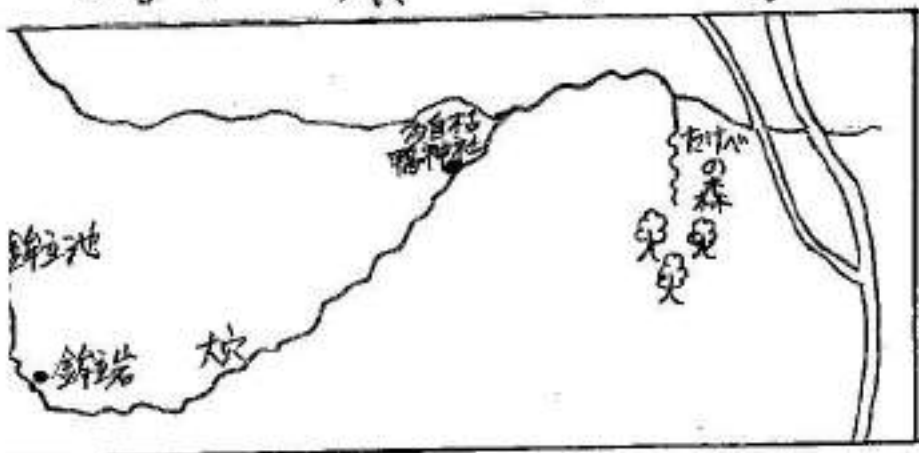
建部タイムスリップ

じゅんぶ

私の住む田地子地区のお話も行森博さんに伺いました。多自枯鴨神社と多自枯布勢神社は共に、延喜式(905年)よりも前に創建されている大変古い歴史ある神社です。3年程前に千三百年祭をしたばかり、記念の身ぬぐいを作って氏子に配りました。

秋の大祭では宮の行事の棒遣も行います。宮棒も持て悪霊や邪気などを祓い民衆の生活の安定を計る為の祭事で、竹内流棒術と互いに影郷音しあう発展したと考えられています。保存会も設立して子供が少なくなると、男の子だけでなく女の子も棒遣いとなりました。後継者の養成に厳しく取り組んでいます。

田地子の上、穴には犬国主命(おおくにぬしのみこと)が旅の途中で立ち寄ったとされる銚立池と刀(銚)を立てて休んだと伝えられている銚立岩があり、この池の水を使って稲作をするようにと指導されたと古くから伝えられています。子供の頃は穴には大きな穴があって、肩ないから行っちゃけんといわれまして。だからこの地域でとれたお米は、とてもおいしいと云われているのです。



もくじ

1. 建部タイムスリップ

2. エカクラウエ

大谷紹介

3. 俳句倶楽部

ちんぼん市

4. 小加家

5. 田んぼおしえて

野中のおはなし

6. たけのこ坂ロード

7. タネピリカ座談会

8. ピリカ日記

新しい仲間が増えました。



☆ 昨年、建部に新入りの子も3人、女子も女子も高めのまは、おはなや。

えかろお 

「季節の野菜を食べる」

私は直売所でお野菜を買うのが好きです。直売所は、なんでも揃っているスーパーと違って、春は山菜や菜っばばかり。夏はキュウリやナスばかり。冬は大根や白菜ばかり。でも、そういう季節のお野菜は美味しいし、作るために使われる石油や農薬も少なくて済みます。同じカボチャでも、産地のカボチャは数キロ先から軽トラで運ばれるけど、メキシコ産のカボチャは1万キロ先から船やトラックで運ばれてきます。化石燃料を使えば使うほど、環境への負担が大きくなることを考えると、食べるものを選ぶことは、環境を守ることにもつながっているのかもしれない。

また、ある知人から「体の健康にとって、遠くて近いもの食べるのがいい」と聞いたことがあります。「遠くて」は、生物的に人間から遠いもののことで、植物(野菜や海草)、魚や貝、鳥、哺乳類の順で、野菜が一番遠くて良いという意味。「近い」は、なるべく近い場所で、その季節に採れたものという意味。カラダにとっても、環境にとってもやさしい季節のお野菜。作って下さる方に感謝しつつ、これからも美味しくいただきます♪ あい



お店紹介

今回から岡山市街まで範囲を広げてご紹介します♪

ご紹介したいのは、岡山駅前にある『駅前町歯科診療所』です。自然素材で建てられていて、歯医者あのあの独特の臭いがしません！虫歯があったらすぐ削るのではなく、お口の中の色々な状況や、患者さんの価値観も大切に、治療のタイミングを考えてくれます。

薬剤の力に頼りすぎず、自分の力で治せるように、もともとあるものを生かした治療を心がけているそうです。実際、治療をしてきた、もりはるき君(小5)に感想を聞いてみました。

「削らないで治療してくれたし、痛くなかった！キッズコーナーがあって楽しいし、木の部屋が綺麗だったよー。」だそうです。

地球環境の事も考えて使い捨て紙コップやエプロンは使用していません。その代わりに滅菌はキチンとしています。子どもの歯並びや、歯科についての疑問などお気軽に相談してみてください。あや

駅前町  歯科診療所

〒700-0023岡山市北区駅前町1-2-18

電話 086-223-6468

HP <http://www.st.kimachoshika.com/>

休診日 木曜 日曜 祝祭日

診療時間 午前10:00~1:00

午後3:00~最終受付午後7:00

俳句倶楽部

担当 かっちゃん・あや

もっと俳句の面白さを知りたいーと思い建部町公民館
クラブ講座「俳句を楽しむ会」の皆さんにお願ひし、
今回もインタビュウして俳句にまつわるお話を伺いました。

老木の今年も見せし花の舞

さとう

我家の前の桜の老木、今年もたっふりと花をつけ、風に
舞う散りぎわの美しさを見せてくださいました。

春霖の一日読みつぐたけくらべ

郁子

春の長雨の一日に、なかなか読むことができなかった、
樋口一世の「たけくらべ」を読みすすめました。

白河の関は芭蕉の青葉かな

寿彦

古代の白河の関は能因法師をはじめ多くの歌人が和歌を
詠んだ所で有名です。俳句では芭蕉が「奥の細道」の中
で、これらの古歌に合わせて「……青葉の梢なおあわ
れなり」と詠みました。私も若い頃から白河の辺りを汽
泉で通過する度に、いろいろな思いにかられました。

「作った俳句を詠むと、聴き手側の感じるのですが、自分と
違っていたりして勉強になる。」「俳句を直して頂くことに
よって、自分の気持ちにもっと近づくと感じます。」と楽しそうにお話
してくださいました。芭蕉の句碑が福渡にあると教えて頂き、
見に行つて参りました。歴史を感じる佇まいで、感慨深い気持
ちになりました。

あや

〈訂正〉

二〇一五年十二月に発行された冬季号の俳句倶楽部の感想の
部分です。「……季語がない句が四割あること」を「……季語を大
切にしていること」に訂正させて頂きます。

ちっちゃ市

とてもよく晴れた5月15日(日)にカヌーのジャパンカップに合わせて「ちっちゃ市」
が開催された。たけべ八幡温泉のたけべ広場にて、出店数8店舗と小規模ながらしっかりと賑わっていた。

当初はカヌーの大会で各地より集まった選手たちの昼食の為にと考えていたが、事前に
小学校等にチラシを配布していた為、午前中から子どもを連れた家族連れが多く来店して
いた。子どもたちの大好きな食べ物ばかりで、特に「おからドーナツ」「Yamada d
e l i コロック」は午前中で完売となった。子どもたちのたくさんの笑顔で溢れていたこ
とが印象的だった。また、建部で建部の若者によって行われた事で、地域に密着したマー
ケットとなり、出店側も来店した側も和やかな雰囲気で開催できた。



優



建部に来て
やっと半年になります

それまで岡山は全く知らない
未知の世界でした

わが家



私は生まれも育ちも山形です。24歳まで山形を暮らしたことはありませんでした。二人は平成10年、神奈川県の川崎で出会いました。

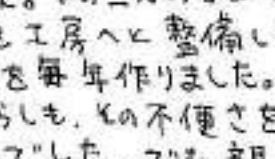
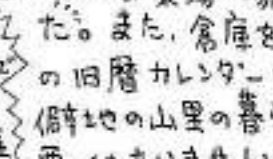
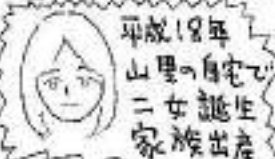


妻は生まれも育ちも徳島です。

3人の5人家族です。

カビの仕事をしています。オスロペンという30歳以上の学生であり、相談モラル専攻中。メールで連絡をください。080-6388-0330

アパート1棟と貸し切りの前衛アートイベントです。二人は当時それぞれ東京に住んで、私は音響詩と路上でのパフォーマンスを、彼女は即興演劇をやっていました。二人ともそれぞれ、なんだか変なことが好きだ。たまたま。それで、出逢いのとき、かけは前衛芸術でしたが、二人の距離感を縮めたのは現代社会や一般常識を疑う、という共通項でした。はじめのデートは、自然食品の博覧会でした。ウヨウ、ほいのもウヨウ、ほいのもほどほどに、宗教と自己啓蒙には、はきり距離をとる自然派指向みたいな所で二人ともわりと肌が合ったので。それで平成11年、つきあいたして半年で埼玉県川口市に二人で小さい家を借り、おせめし同棲ごころを♡とこころが、この二人にY2K(2000年問題)の恐怖が!! 非常時の備えを一斉に取り組み、無事に平成12年(ミレニアム)を迎えることができました。これをき、かけに、都会に暮らすということに二人とも矛盾を感じ始め、都会脱出を! 手漉き和紙を作る営みが、太陽のエネルギーだけで物的価値を作り出していく技術であることに感銘を受けた私は、手漉き和紙の道に入る決心を…。そして、私が石形場を受ける目的で、二人一緒に高知へ! 平成12年、二人の田舎暮らしの始まり、はじまり! 二人とも田舎暮らし。そして、研修が終わった平成13年、なんとなく入籍…。そして、平成15年、手漉き和紙の紙漉き(職工)として手漉き工場で働きながら、いすれは自分の工房を構えたい、背番号制も拒否したく、住宅ローンに全く入っていない福島県、矢祭町へ平成17年転居! 山奥の僻地。県庁とか、免許センターなどは車で片道4時間、小さな都市でも片道2時間、町の役場や小さいスーパーまで片道30分、それで車で30分以内に商店は全く無い小さな集落の家。下の二人の子どもはこの家で生まれました。



平成18年 山里の自宅で二女誕生 家族出産
平成22年 山里の自宅で三女誕生 家族出産

車で片道3時間かいた、ちと遠すぎるから福島県内での転居を考え、平成23年4月からは新しい土地へ永住予定で移る準備を進めていました。東京電力による放射能公害事故はそんな時に起こりました。原発の大爆発が起こった3月13日「明日避難するから荷物まとめてよ」と毒、「分かった」と答えるものの、引越し荷作り終盤だったので少し混乱。荷作り箱を壊し、持ち出た品をまとめて14日には避難開始。もう二度と家には戻って来なくなるかもしれない覚悟をしました。そして一家5人が自家用車で兵庫や和歌山で友人づてに家探しの放浪…。そして結局、土地勘のあた高知が探しやすく、高知(四万十町)にとりあえず落ちつく。でも周りには避難業者は皆無。震災1年目、2年目、3年目、怒りとか、悲しみとか、口惜しさとか吐き出した時期寂しい思いを体験。それで、気持ちや思いを分かち合える仲間が近くに居て欲しいと願う。昨年平成27年11月に岡山のこの建部町へ転居して来ました。でも震災6年目の今はもうとくに、悲しみや悔しさを吐き出したりする時期は終つてあります。あー。引越すたびに、それまでに積み重ねた地域との関係が引き払うみたいになつて、新しい土地で再び築き直さなくてはなりません。新しい土地風土にも、人にも生活にも慣れるのに苦労するもので。今、建部にまで紙漉き道具は全て持ってきてしまいましたが、もう私には放射能公害事故以前に抱いていた紙漉きの夢は失われてしまいました。非常時に手漉き和紙に価値など全く無いと思うからです。社会の中での自分の役割を、いまた「見失、たままですが、今まで自分が受けたたくさんの恩に報いたく思い、農業を営んでいるところです。平成28年5月18日(卯月十日)はか

みんなおしえて!

ちっぴ市でたけバの皆さんに聞いてきました。

たけバだよ



あなたの(家族で) おでかけスポットは?

夏休みに 行ってみたい所

近場

ちっと足をのびせ

里山祭りの山

御津スポーツパーク

八幡温泉

美咲運動公園

こどもの森

ノースビレッジ

めたかの学校

日たきスポーツパーク

親水公園

まきはの館

高知白曜市

香川まんのう公園

蘇山塩釜の冷泉

太島散島神社

鳥取浦富海岸

香川さぬき子どもの国
さぬきうどん

沖縄

鳥取ハワイ海岸

犬島

小豆島

たけバの森

和歌山

川湯温泉
白浜温泉

ディスニーランド

しまなみ海道
海鮮丼

行ってみたい所は

沖縄が1番入っていました。次号のみんなおしえても「お楽しみに!!」(か)

葛粉のおはじ

秋の七草のひとつ。

赤紫の花が8月頃

から咲き始め河原

などに繁って、木が

おおわれてしまう程繁殖

力おあせいなる性の多年草。

この根から葛粉が作られるが

今では本物の葛粉はなかなか手に入らないし、高価。根を乾燥させたものが葛根

(かっこん)で漢方薬になる。

つるではかごを編んだり、葛布と呼ばれる布

を織ったりと、古来いろいろな利用されてきた。

花は葛花(かつか)と呼ばれ、イソフラボン

を多く含んでいて注目されているそう。

直ぐ夏の河原で繁る葛を見ると生命

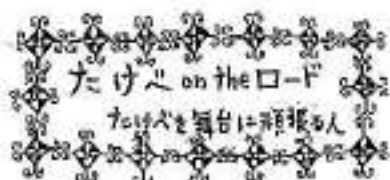
力に感服。暑さに効きそうなので、葛もち

を作ってみたくあります。

みずえ



葛 2016.5 MIZUE



今回お話を聞いたのは、2011年に千葉県から移住してきた下山田桂さんです。16歳と9歳の子を持つお母さんであり、ファシリテーターとして活動しています。また、タネビリカメンバーであり、建部町公民館にて「みどりの映画会」を運営しています。

◆建部に来る前はどのような生活をしていましたか？

千葉県いすみ市で暮らし、食べることは自然農で、体のことについては夫婦で話し合いながら自然療法で対応してきました。子供が生まれた時に、ゆくゆくは教育も自給できたらいいねと、夫婦で話していました。第1子が幼なかつた頃、自然の中でのびのび子育てがしたいという似た価値観を持つ4家族で自主保育を始めました。次第に、地域の方からも理解が得られるようになり、古民家を借りて週3日の活動をしていました。始めて8年程経ち、規模が大きくなり、関わる人が増え、考え方の違いからトラブルが起こったりし始めました。せっかく子どもたちにとってより良い環境をと集まったのに、、、胸を痛める中、ファシリテーションや組織づくりの考え方に会いました。

長女が就学年齢となり、シュタイナー学校へ通いはじめました。長女にとってはもちろん、親にとっても初めての経験ばかりで毎日がわくわくする日々でした。しかし、4年生まで通った頃、家族で話し合い、新しい学びがしてみたいと思いはじめるようになりました。ちょうど同時期、同じように子どもの学びの場について考えていた自主保育のメンバーたちと一緒に、協力して新しい子ども達の居場所を作ろう！と動き始めた矢先に、3.11の原発大震災が起こりメンバーは避難して散り散りになってしまいました。

◆東日本大震災・原発事故から

学生時代にロシア語を専攻していた関係でご縁のあった、反原発運動をしている団体から事故後のチェルノブイリの新聞の翻訳を依頼され、お手伝いしており、原発のことについても勉強をしました。ですから、まさか同じような事故が日本で起きてしまうなんて！と本当にショックでした。原発事故をきっかけに、自主保育や学校の一部の仲間と言葉が通じなくなったように感じ、そのことも大きなショックでした。子ども達の遊ぶ場所（震災後すぐは外遊びができず体育館を借りて遊んでいました）、食べ物等、それまで当然のように思っていた共通認識が崩れていきました。そんなことが起こりうるのか？と、驚きとショックの連続で言葉を失いました。

その後、夫婦で話し合い、子ども達の健康を考えると千葉にとどまる選択はできなかったため、母子で岡山県津山市へ避難しました。家族の体調も回復し一安心しましたが、子どもたち（次人も）は大きな環境の変化に慣れることに精いっぱい。慣れない土地での生活へ不安もあり、子どもたちの声に向き合う日々でした。自分自身も大切な仲間を置いてきてしまったという気持ちがあり、ずっとコミュニティと共に生活して、お互いに支えあっていたので、初めて1人で子どもたちと向き合いたくさんの時間を費やし、多くの気づきと学びをもらいました。そして縁あって2012年春に建部町へたどり着きました。

◆風りの人と丁寧に繋がりたい

子どもと向き合う中、子ども達が自分らしくいれる居場所づくりができたらいいなと考えています。3年前から学校へ行っていない子を持つお母さんの会にもかかわっています。同じ立場のお母さんと月に1度のペースでお喋りをし、情報交換をしています。

また、2010年から生活にも取り入れてきていた、想いやりのコミュニケーション（NVC）を練習する仲間づくりも続けています。長年の癖がついている話し方や生き方を変えるのは大変ですが、決意をして実践することで深いつながりを相手との間に感じることができた時は本当に嬉しいし、根気強く取り組む仲間と岡山で繋がるのができて今は本当に幸せです。岡山でいただいた沢山のご縁に深く感謝しています。

インタビューを終えて

今では、想像が付きませんが、昔は違う意見を持つ人とは、どう関わっていいかわからなかったと考えていたという桂さん。いつも優しく「うん、うん、そうだね。」と、聞いてくれる奥に「他人が抱えている背景を理解して相手が解決していくのを見守る」「自分自身との違いを楽しみたい!」という思いがあったことを知りました。また、「今は自分が変わっていく、日々の変化が面白い。」と、前向きな姿も素敵です。何気にタネペリカという中に一緒に活動していましたが、もっと話してみなくては!

(こと)

◀NVC (Non-Violent Communication : 非暴力コミュニケーション) とは

相手とのつながりを持ち続けながら、お互いのニーズが満たされるまで話し合いを続けていくという、共感を持って臨むコミュニケーションの方法です。カール・ロジャース博士の弟子のマーシャル・ローゼンバーグ博士によって1970年代に体系付けられました。ローゼンバーグ博士は、どんな困難な状況に陥っても尊厳を失わない人たち(近年なら、マザーテレサ、ガンジー、キング牧師など)がどうしてその状況を乗り越えて来られたのか?について研究して次のような発見をしました。「彼らの使う言葉・話す言葉が他の人たちとは異なる!」そしてそれを誰でも使えるように体系付けました。LearningNVC Project (ラーニングNVC プロジェクト) のHPより>



今回から始まる座談会。カラフルなナンバーでテーマを決めて話し合おう!!
まずはどんな事を話そうか? "カラ決め"からのスタート。はじまりはじまり。

地震



1つのことをゆくりとはなしあえる仲間がたけべに
いることがうれしいのたのしみです。

憲法9条の「軍持放棄」が
ゆらいているこの頃、あしたの
憲法ってなんだろう?..
思うて、話し合いたいな。



食

避難経路の安全性
やら避難行動の安全性
やら考えていたら
分からなくなってきたら...



同じ地域に住む
人達と話し合うことで
我が家の防災が
より具体的にた
りそうです。



3.11の地震を経験し、
今回の熊本地震も
また、防災について
みなで考えてみたい

原発

昔から建前に住んで
いる方々の経験を
聞いてみたいです。



水害



コト

今回はじめてタネピリカメンバー取材しました。いつも近くに居るメンバーなので、知っているつもりでいたけれど、もっとみんなと話す場が改めて欲しいな...と考えました。



今日から新しい記事がいろいろ出てくるよ。図書館の資料もいろいろお話を聞けるよ。今の季節は岡山県の広報誌に「タネピリカ」が載っているよ。ぜひ読んでほしいよ。



あや

今回お話しを伺ってみて、建部にはまだまだ沢山の歴史的史跡があるので、色々調べてみたいと思います。どんどん仲間が加わり更にパワーアップしていきたいなアツクアツクを感じています。☺



ひん

公民館より

アツい夏ももうすぐですね。元気に楽しい夏を過ごしましょう！
公民館から主催講座のお知らせです。



◇男女共同参画推進週間・6/21～6/27

岡山市男女共同参画社会の形成の促進に関する条例「さんかく条例」に基づき、毎年6月21日から27日までの1週間を「男女共同参画推進週間（さんかくウィーク）」としています。

さんかくウィーク参加事業・料理教室

男も女も薬膳料理で冷えとり対策！

～体の健康は冷えとりから～

- ◆日時：6月30日（木）10：00～13：30
- ◆講師：安斉 修さん、安斉 弥生さん
- ◆場所：北保健センター建部分館・1階調理室

《岡山市建部町図書館・公民館 合同事業》

としょかんフェスティバル

- ◇とき 7/17(日)10:30～11:30
- ◇ところ 建部町図書館 こどもとしょせつ
- ◇内容 人形劇 ◇出演 つんちゃん劇場
- ◇問合せ 建部町図書館 (☎722-4555)



◇5月30日は「ゴミゼロの日」

食器交換コーナー

5月30日（月）～6月27日（月）

建部町公民館1階のロビーにて

ごみ減量・リサイクル推進週間(5月30日の前後一週間)に合わせ、食器交換会を行っています。あまり使われなくなった食器が、再び違うご家庭で新しい顔として食卓を賑わせていることでしょうか。ぜひお持ち込み・お持ち帰りください。

ゴミのものを減らす

Reduce
(リデュース)

ゴミになるものを断る

Refuse
(リフーズ)

4つ(R)

の行動

分別して
再び資源として利用する

Recycle
(リサイクル)

何度も繰り返し使う

Reuse
(リユース)

【発行】

岡山市立建部町公民館「タネピリカ」新聞委員会

〒709-3111 岡山市北区建部町福波 496-1

電話 (086) 722-2212 Fax (086) 722-2160

E-mail takebekoumin@city.okayama.jp